

## 第2回新図書館西敷地利活用検討委員会の概要について

日 時：平成28年5月20日（金） 午前10時00分～午前11時30分

場 所：総合あんしんセンター 3階中会議室

出席者：9名

委員長 産田 節雄

副委員長 広末 幸彦

委員 和泉 潤

委員 土居 純子

委員 古谷 純代

委員 吉岡 諄一

委員 渡部 淳

委員 中澤 慎二

委員 清水 博

事務局 高知市商工観光部副部長

松村 和明

参事商工振興課長事務取扱 狩場 信壽

商工振興課中心市街地・地域商業活性化推進室長 松岡 宏輔

商工振興課中心市街地・地域商業活性化担当係長 和田 夕子

1 開会

2 議事

新図書館西敷地について

- (1) 検討委員会の進め方
- (2) 前回の委員会で出た質疑にかかる回答
- (3) 市民意識調査
- (4) 行政や大学等の機関へのニーズ調査
- (5) 先進地事例

3 その他

4 閉会

---

### ■ 議事事項

新図書館西敷地について

⇒ 事務局より説明（資料1）

#### 【委員長】

「(1) 検討委員会の進め方」については、いろいろ意見もあると思うので、最後にして、「(2) 前回の委員会で出た質疑にかかる回答」から「(5) 先進地事例」について、まとめて質問・意見をお願いするという進め方でよろしいか。

#### 【委員】

市民意識調査は西敷地を特定して調査したわけではなく、総合計画の絡みで調査をしたと受け取ったがそれで間違いないか。

<事務局>

はい。

#### 【委員】

11 ページの最後に、設問の「今後、中心市街地にどのような施設や機能が重要であると考えます

か。3つまで選んでください。」とあるが、「中心市街地」という概念は人によって非常に異なる。一般的に「中心市街地」と言えば、はりまや橋や高知城等の界隈を通して、そこにどのようなものが必要かというイメージで捉える。「中心市街地」は商業地域であるため、全ての回答層において商業的なものが必要だという回答が出るのは当然のことではないだろうか。

12 ページ以降、「商業」から「無回答」までの回答が示されているが、設問にこのような項目が選択肢としてあるのか。

例えば、一番目に「観光」を選択した場合、私は二番目に「芸術・文化」を選ぶ。ところが仕事を探している若者であれば、二番目に「働く場」を選ぶ。市民意識調査は、西敷地に特定した設問ではなく「中心市街地」に必要な「施設・機能」の設問であるため、回答の考え方が混在しており、かなり慎重な分析が必要ではないだろうか。

#### <事務局>

市民意識調査については、西敷地をイメージした設問ではない。選択肢については、18の選択肢を設問の中に用意をして選んでもらう、その他の欄には自由に書いてもらうというようなスタイルの調査である。答えた方が選択肢の概念をどういう風にさび分けをして答えたかということが出てくる。人によって捉え方が違う場合もあると考えている。

#### 【委員】

この施設を建設するにあたり、コンセプトが大事なのか、どういう目的で建てるのか、ニーズを最優先にするのか、そのことによってその先の話が変わってくる。ニーズということになるとコンセプトや目的とずれてくる。中心市街地活性化基本計画の基本コンセプトである「“土佐の風土と文化”を継承・創造・発信するまち」と商業施設ではあっていない。優先順位は何が一番大事なのか。

#### <事務局>

別添1で、左側の箇所に評価項目を記載しており、この評価項目についてはこれから精査もしなければならぬが、このあたりの議論も検討委員会をお願いをしなければならないと考えている。前回の部会においては、「中心市街地の活性化への寄与」を最重点において評価をした。今回の検討委員会においても、この評価項目の検討と重要度も一緒に検討をしていただくように考えている。

#### 【委員】

私たちがしなければいけないことが少しずつは見えてきているような気はする。まず評価項目の選定をし、どのような形の機能をプロポーザルに持っていくかという絞込みをこの検討委員会で進めていくと考えていいのか。

#### <事務局>

資料1の3ページの上段の検討委員会の丸囲みの中で、黄色に示している部分について（本委員会で）検討していただきたいと考えている。各機能を評価するにあたっては、どういうものを評価項目にして検討していくかを定めなければならないため、評価項目の検討をしながら機能の抽出もあわせて検討していただき、この検討委員会を進めていきたいと考えている。

#### 【委員】

ぼんやりとこの会の進め方と意図するところがわかってきたが、求められることと実現できることはかなり乖離があると思われる。まずは一般市民が求めるものができることが一番大事であると思うが、例えば、南海トラフが最重要視され、そこに着地点がいくかどうかなど、何処に着地点をつけたらいいのか、行政からストレートに話していただけたら委員の中でも検討もしやすいのでは

ないだろうか。

#### <事務局>

西敷地については、行政でこういうものを作りたいということではなく、これまでの中心商業地区市街地総合再生計画や中心市街地活性化基本計画のコンセプトをもとに、現在の環境の中で、事務局が情報を提供しながら、西敷地のあるべき姿を委員の皆様と議論していただきたいと考えている。行政では着地点を今のところ考えていない。

#### 【委員】

例えば高知市のホームページに、一般市民で（市民意識調査の）アンケートを配布された方以外で高知市にこういうものを造ってほしいという意見はないのか。

#### <事務局>

一般市民からの意見は電話でもらったことはあるが、西敷地の話が始まってから、実際に会って具体的な話をしたのは事業者で、一般市民の（具体的な）提案はいただいていない。

#### 【委員】

まだまだ見えてきていないが、色んな意見の吸い上げ方、反映のさせ方が非常に難しい。例えば、資料の中にも「中心市街地」と「中心商業地」という言葉が混在し、その一つだけでもかなりイメージが変わり、何のために整備をするのか微妙なところで大きく変わるため、そのようなところに注視をしながら（市民意識調査を）見直す必要がある。近年、高知市の中心部の状況は大きく変化しているため、それを前提にして今の時点で何が必要かをもう一度考える必要がある。（市民意識調査の）アンケートの対象は20歳以上ということであるが、中心市街地に大学が整備され、県外から来た学生も含め、学生が増えてきている。県外から来た学生が暮らすわけですから、そういう人たちの意見や感想を聞きながら（西敷地の検討を）進めていく必要があると感じる。

#### 【委員】

市民意識調査は（西敷地のニーズと）調査の目的が異なるため、かなり精査の必要がある。3つ選ぶということは回答者が3倍で、1つ選ぶのと3つ選ぶのでは調査結果にずれが出てくる。「商業」は非常に広い概念であり、（西敷地は）商業地域であるから、「商業」という結果になるのは当然である。「イベント」と「観光」はほとんど近似値、「教育」と「文化」、「観光」も近似値で捉える方もいる。（西敷地は）非常に重要な公有地であり、3つのゾーンの結接点であるということとを鑑みた時に、よそからの目が非常に大事な視点ではないかと思う。県外の方の意見で我々が思いもつかないような意見も多いため、そのような意見等を知る機会を是非持ってもらいたい。

21ページの大学関係で、あそこを中心にサテライト的な学舎を作りたいとか、教養課程を中心部でやって、専門課程を本学でやるとか、以前に高知大学の学長がしきりに言っていたことを覚えているが、今、県立大学の整備がほとんど進んで完了したと認識しているが、今の機能の中にここで回答を求めた4つ5つの大学の機能というのは何らかの形で入っているか。

#### <事務局>

県立大の整備については、第一期工事が完了したころだと思う。今後は二期がある。学部の一部や課程の一部をもってくるといふ提案は経済団体から出ており、そのことについては、第1回の資料で民間提案機能の一覧のところとその機能を示している。検討委員会はその提案がいいかを検討する委員会ではない。県立大学の拡充によって全ての機能がまかなわれているかという点については、産学官連携センターができています。西敷地にも産学官連携施設という提案もあり、その点が重

複している。

**【委員長】**

県立大学には整備していること以外に何か追加してやらなければいけないことがあるのか。

**<事務局>**

二期計画の予定がある。次回、二期計画も含めて全体の概要をお示しできたらお示しする。

**【委員長】**

「よその視点」とはどういうことか。

**【委員】**

方法論はわからないが、まちづくりをしていく手法として、地元の間人は日常の流れの中で、地元の良さがよくわからないが、全く違うところから来た時に、街の良さや歴史風土などの良さを感じる。感じるによって初めて地元の間人が地元の価値を再発見し、若者が音頭を取るとよく言われており、これを中心としたまちづくりをしようとする。西敷地付近の商店街や3つの結接点を見た時に、観光客等の外からの人は、我々のニーズと視点が違うのではないか。そういう異なる視点も参考にしながら（西敷地の）利活用を図ることが大事ではないか。

21 ページのニーズ調査結果では、大学としてのニーズであり、大学の先生方に客観的に聞くことも方法ではないか。また、活用してみたいと回答したのは1団体であるが、今は県立大学（の産学官連携センター）にそれぞれの大学が入ったので、以前の高知大学のニーズが完了、少なくとも最小限のニーズが満たされて、結果がこうなったのか。

**<事務局>**

（県立大学の）二期の計画について次回にお示しできたらお示しする。

**【委員長】**

ニーズ調査など大変な作業が出てくるようになるのではないと思うが、今後の検討委員会の進め方について、もう少し意見はないか。

**【委員】**

平成 24 年に中心市街地活性化基本計画が策定され、その一環として西敷地も他の計画と同様に計画の一つとして登載された。庁舎建替えや博物館の完成、図書館も 30 年にオープンが決まっており、他の計画はどんどん進んでいるが、残っているのは西敷地である。平成 23 年当時から言うと（西敷地を取り巻く状況は）違ってきており、（市民意識）調査の仕方についても的を射ていない部分もあるような気がする。中活計画も平成 30 年 3 月に終了し、二期計画の予定があると聞いている。西敷地は中心市街地の中にあり、重要な機能や役割があるため、重要な案件として議論を深めていかなければならない。

幅広い意見を聞くことや新たな西敷地のコンセプトをこの委員会で決めていくということになっているので、このタイムスケジュールでは無理があるのではないか。回数も増やししながら、一般市民の意見も聞き、手法も考え、もっと盛り上げていくようなことをしたらどうか。商環境もこの 5 年間では大きく変化しており、個店の売上や地価も通行量も下がり、かなり力は弱っている。そのため、（西敷地では）違う機能で中心市街地の賑わい、商業が成り立つようなしくみを考えていかなければならない。

【委員長】

このスケジュールでは無理があるのではないかという意見が出たがどうか。

【委員】

背景や目的があり、目的をこうするために手法があり、手法はこのコンセプトでいこうかということであれば分かるが、それも何も決まっていないうちに、コンセプトを決めるというのはそのラインしかできなくなってしまう、非常に視野が狭くなってしまふ。この段階でコンセプトを決めるというのは早いのではないか。中心市街地活性化という目的で、例えばメインターゲットがこの年齢であるとか、こういう目的でこういうことがしたいという話があつて、コンセプトに移っていくのではないか。じっくり話をするべきではないか。

【委員】

歴史博物館や図書館ができ、その真ん中の角地で、追手前小学校が廃校になってまでそこに何かを作ろうとしているわけであるから議論に議論を重ねて、例えば箱物ができるにしてもみんなから愛される、利用価値や利用度の高いものを作りたい。大きな費用を投入するわけであるから、箱物を作り上げて満足をするのではなく、費用対効果であるとか、この委員会で慎重な論議を重ねて素晴らしいものを作ることが、市民にも理解納得をしていただけるのではないか。また、私たち委員も意見を出し合い、自分たちの思いを投入できるのではないだろうか。

【委員長】

色々意見が出たが、事務局は何か考えられることはあるか。

<事務局>

4回の予定で検討委員会を考えていたが、先ほどの委員からの様々な意見から、回数や期間も含めて今後のスケジュールについては延長する方向で検討し、次回の検討委員会で改めてスケジュールを示す。

【委員】

中心市街地活性化の絡みにもなるが、(西敷地の)期限を延長するという提案があつたが、最終的に結論のイメージがわきにくい委員会である。コンセプト、ニーズの問題とか様々な機能がどうあつたらいいかというのは千差万別であり、私のようにとりあえずは何も作らずに広場が一番という意見、多機能のビルを作って、色々な機能を満たしていくという意見、多機能ではなく2、3の機能を追及するという意見もあり、結論的には非常に難しい。今後の進め方として、もう少し時間をかけるということと、一定の考え方を示して全員の意見がどうなのかということにしていかないと結果の集約は非常に難しい。

【委員長】

誰かがたたき台を作らないと前には進まない。議論する材料がないとできていけないので、事務局と私で調整して諮り、議論する材料を出すということでもいいか。

【委員】

今の進め方でお願いしたい。数年前から街の機能は変わってきていて、これからも変わっていくという時に、歴史博物館や図書館ができることによって、既存の文化施設の在り方が変わってくる。高知城や文学館の意味が変わり、科学館もできたりする。龍馬の生まれたまち記念館、横山隆一記念まんが館、よさこい情報交流館など、全部の意味が変わってくるのではないかと思う。現在、高

知市中心部文化施設連絡協議会を作ろうとしていて、文化施設として、高知の街はどのような風に見えるのか、高知の街にどう貢献ができるのかということの話し合いを始めている。ただ文化ということだけではなくて、追手前、土佐女子、丸の内など学校との連携も考える。県立大、工科大との連携も話し合っている。また、帯屋町の商店街の人たちの話で、日曜市の在り方等の意見交換会をやっている。その話を一度、委員長と事務局に話をさせてもらい、提案をまとめてもらいたい。

【委員長】

情報の収集を事務局と対応するということでよろしいか。

【委員】

今の話のままでは委員長責任になってしまうので、委員長中心に事務局と一緒に、委員の手上げ方式で構わないが、(委員の意見を)一度聴取していただき、その内容を参考に委員長提案としたらどうか。

【委員長】

事務局は提案が出たので、段取りをお願いします。

<事務局>

たたき台を作るにあたって、其々のご意見を伺い、まとめる、ということよろしいか。

【委員長】

みなさんのところに連絡がいくと思うので、よろしくをお願いします。

午前 11 時 30 分終了。